

令和7年5月30日

市政記者クラブ 様

教育委員会事務局教育支援部

【全般について】

義務教育課首席指導主事 中村

972-3270

【救急搬送について】

学校保健課長 津田

972-3245

(18時15分まで待機します。)

市立小学校における理科の実験中の事故について

1 概要

5月28日(水)、理科担当講師の指導の下、葉にデンプンがあるか調べる実験を行った。正しくは「エタノールを入れた試験管を湯せんする」ところ、「エタノール入り試験管を入れたビーカーを直接ガスコンロで加熱する」よう誤った指導をしたため、エタノールに引火し、実験を行っていた児童一名が右腕にやけどを負った。

学校は流水で患部を冷やす処置をし、受診が必要だと判断したが、救急車の要請はせず、保護者に連絡して迎えに来てもらうように依頼した。迎えに来た保護者が、学校から紹介された近隣の病院に連れて行ったところ、より専門的な治療が可能な病院の救急外来を紹介された。

2 けがの程度

病院での診断の結果、やけどの程度が重く、感染症の恐れがあるため、現在手術に向けて入院中。

3 対応

- ・ 当該児童の保護者に状況を説明し、謝罪を行った。
- ・ 同様の事故の再発防止のため、昨日、教育委員会から全市立学校に、「名古屋市教育課程」および「小学校理科の観察、実験の手引き」等を参考に、予備実験を十分に行い、正しい手順で実験を行うよう注意喚起を行った。
- ・ 全市立学校(園)に、各学校が定める「学校保健安全計画」および「名古屋市学校保健の手引」等による救急体制の再確認を指示し、救急時における適切な対応の徹底をする。